

広島県中小企業団体中央会 2016年8月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

8月の出荷量は前月比3.5増加、前年同月比22.9%増加、売上高は前月比4.7%増加、前年同月比23.4%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成28年7月の全国の住宅着工戸数は85,208戸で、前年同月比では8.9%増加、また、季節調整済年率換算値では100.5万戸（前月比0.1%増加）となった。利用関係別では、持家は26,910戸で前年同月比6.0%増加、貸家は37,745戸で前年同月比11.1%増加、分譲住宅は19,897戸で前年同月比9.1%増加となった。なお、木造住宅の着工数は48,693戸で、前年同月比11.0%増加となった。

住宅着工の動向は、先月の減少から再び増加となったが引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の7月の着工戸数は1,731戸で前年同月比44.7%の増加、このうち、持家は489戸で前年同月比2.7%の増加、貸家は799戸で前年同月比108.6%増加、分譲は442戸で前年同月比32.7%の増加となった。県全体の住宅着工の動向は、前年同月比で先月の減少から再び増加となったが、地域別では、広島市は着工戸数999戸で97.8%増加、福山市は214戸で10.3%増加、大竹市は118戸で972.7%増加、廿日市市は50戸で28.2%増加となる一方、東広島市は87戸で9.4%減少、呉市は48戸で38.5%減少、尾道市は51戸で40.7%減少と地域間でばらつきが見られ、会員によって、売上や収益等に好不調の差がある

との聞き取り結果となっており、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

例年通り、秋口は忙しくなると思われる。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

厳しい状況が続いている。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

景況感、見通し共に長期的な下落傾向が続いている。

自動車業界においては、グローバル展開のあおりで国内生産の減少は続く一方で、技術革新（軽量化等）への対応、原価低減への協力も迫りうちとなり、部品メーカーにとって苦境に変わりはない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

8月は、稼働日数が少ないため前月より売上は減少している。9月からは持ち直しの傾向にあるが、全体的には各社横ばい傾向である。

大企業を中心に、メーカーはここ2年程度続いた円安バブルの終息が見られ、一転厳しい状

況となっている。その影響は、今後着実に下方へ影響が出ることが予想される。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

28年8月 3,101m³ (対前年21.1%増加)

28年7月 3,202m³

27年8月 2,561m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

後継者不足により、1社操業停止となった。

PCB(ポリ塩化ビフェニル)の廃棄期限について、高濃度の処理期限が当初の平成31年3月末から平成30年3月末へ1年前倒しになった旨の広報が不足していると感じている。処理期限が短くなっているので、設置者(事業主)や管理者と行政が共に情報共有しながら、早期処理に汗を流すべきである。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

設備案件の減少により、前月比15%減少、前年同月比5%の減少となった。業界に動きがあまり感じられない。

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区においては、航空機関係は高操業である。それに携わる協力会社各社の操業も高操業である。タービン・コンプレッサ、製鉄機械、ゴムタイヤ機械等は低操業の状況にある。それに伴い、協力会社各社も低操業である。

電気機器

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、お盆の連休が6日あったことと、生産が少し停滞気味のため、前月比5%減少、前年同月比1%減少となった。輸出物件が停滞しており、国内はスマートメーター以外は横ばい傾向にある。

最低賃金の上昇が、経営を圧迫している。取引先に価格交渉はしているが、難しいようである。中小企業施策への更なる充実を望む。

輸送用機器

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

8月の国内自動車販売台数は全需が337千台、前年同月比2.9%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。登録車は前年比5.7%増加と2ヶ月振りの前年超え、軽自動車は2.0%減少と20ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は13.9%減少と11ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの7月の全需は1,522千台で前年同月比0.7%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は同2.8%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

欧州の7月の全需は1,335千台で、前年同月比2.7%減少と7ヶ月連続の前年割れとなった。マ

ツダ車は同1.6%増加と14ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の7月の全需は1,593千台で、前年同月比6.0%増加。マツダ車は30.2%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の7月の海外販売合計台数は108千台、前年同月比3.0%増加と4ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの7月の輸出動向については、輸出台数は前年比12.0%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダの7月の国内生産台数は、前年同月比8.9%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成28年8月の船舶建造許可実績は1隻144,000総トン（前月4隻163,799総トン、前年同月7隻323,400総トン）であった。なお、この1隻は貨物船で輸出船となっている。

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

先月に引き続き、原材料の高騰により収益性が悪化している。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

今月は前年比5%減少から変化なしの間で推移しており、市況は変わらず苦戦している。

学習機の販売について、昨年の購入比（昨年実績65万台、購入比率約61%）から今シーズンは約64.5万台の売上を見込んでいる。このうち組合員企業の販売数は3%前後と想定される。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

円安基調が継続、市場はややデフレ気味となり、景況感も低下してきている。

「資材関連」においては、公共工事は件数・請負金額とも増加、民間住宅関連投資も堅調に推移している。太陽光発電はやや陰りがあるが、LED照明・HEMS・蓄電池・セキュリティ関連は堅調である。

「食品」においては、外食向けは、前年対比マイナスで推移。大手外食産業は価格引下げ傾向にある。

「繊維」においては、婦人下着は、残暑により夏物店頭在庫は減少、空き棚を埋めるため、秋冬物を陳列する業者が多く、卸の出荷状況としてはまずまずである。

「雑貨」においては、生活雑貨の売上は、弱含みで推移した。販売先小売店からの値下げ要請が強くなっており、デフレ傾向の兆しがみえる。

●卸売業（食料）

広島県東部食糧協同組合

商品の仕入不足等により、売上が減少していたが、今後新米の入荷により、景況感は改善する見通しである。

卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

売上高は前年比減少となった。

今年は猛暑となり、エアコン販売が好調であるが、施工業者の人手不足が深刻な問題となっており、今後施工費の単価アップと技術者の確保が懸念される。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産の藁草は未だゆっくりとした生産状況で、新草の畳表の生産は活発な動きとはいえない。主に古物畳表の流通が主流であるが、こちらも活発ではない状態である。主因は気候変動等による消費意欲や製織意欲の減退である。

一方、中国産の畳表においても今年度は生産量の抑制を図ったことから、日本の需要動向を見ながらの製織と輸出となる見込みである。主に今は古物の藁草をもとにした製織がメインとなっている。

国内は全般的に畳表の需要が極端に減少している。業界関係者にとっても正念場だと思われる。取り扱いが堅調な企業とそうでない企業との格差が出てきている。なんとか需要増に結びつけていきたい。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

近隣ヘディスカウントドラッグストアが進出したことと、市のプレミアム付商品券の発行がないことが食料品店の売上減少に大きく影響している。

8月末にテナントの紳士服店が退店し、空き店舗が増加した。

チューリップチェーン商業協同組合

8月の売上は、前月比、前年同月比共に減少した。

今年の中国地方の梅雨明けは平年より少し早く、また、台風が来なかったことで青果物の生育が順調で、例年にない安い相場で推移した。今年から山の日が創設され、お盆休みが長期化し、お盆としての販売のピークがなく、売上が分散した。このことで、我々山間部の店にとっては、街や他の地域に遠出し、そこで食事や買い物を済まされて帰宅される方が多くなり、このことが売上減少の一因になったと思われる。

現在の野菜の主力産地である北海道、東北に台風が次々と上陸しており、今後果実等の販売状況の変化が危惧される。

家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

8月度の販売実績は前年同月比4.8%増加となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比2.5%増加、BDレコーダー同4.8%減少、音響・車載機器同18.7%減少、冷蔵庫同11.5%増加、洗濯機同4.6%増加、エアコン同11.8%増加、エコキュート同4.9%減少、IHクッキングヒーター同2.2%増加となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

8月末に全国展開している医療代替産業（磁気治療器、寝具等の販売）の事務所兼店舗が開店した。

9月中旬で鮮魚店が店主の高齢化を理由に閉店する。

7月に続き8月に呉中央地区の商店街土曜余夜のイベントが同日開催された。呉本通り商店街主催のイベントでは、近隣の高等学校からの協力等もあり大変盛況で、今までにない関わり

も出来るなど有意義なイベントとなった。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比7.5%減少、前年同月比3.6%増加。車検場収入は前月比9.7%減少、前年同月比2.8%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比10.8%減少、前年同月比18.6%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

引き続き大型ショッピングセンター等の改装があり、多忙である。

建設業

●工事業

神辺建設業協同組合

公共投資において上半期、大型工事の発注が見られる。中小企業向け案件の発注も前年度並みに推移しており、各社受注にむけ意欲的である。ただし、コンクリート2次製品を中心に設計価格と実勢価格にまだ開きが見られるため、それらの見直しが求められる。

広島県室内装飾事業協同組合

8月の売上については、前月比40%増加、前年同月比145%増加となった。

前月比で見るとカーテン工事は43%増加、壁装工事は51%増加と大きく増加した。前年同月比では、敷物工事も含め、3工事とも大きく増加した。

8月の累計では、敷物工事が前年同月比15%減少と前年割れであるが、全体では、前年比6.5%増加で推移している。施行工事においては、依然地域間格差と事業者間格差が大きい。

業界全体では、技能労働者不足による高齢化と、後継者不足も大きな課題である。

福山地区電気工事業協同組合

8月における工事受注件数は、前月比43.0%増加、前年同月比58.4%増加となった。アパート等の集合住宅の新築が増加しており、それに伴い、工事件数も増加している。

運輸業

●道路貨物運送業

広島県ロジネット協同組合

8月の荷動きは、夏期休暇や大型連休の影響で、第1週目の後半から第2週目の9日までよく動いた。昨年2日間程度だったピークが4日間ほど続いたが、その影響か盆明けは昨年より荷物量が減少した。そのため、盆前は荷物はあるが車がなく、盆明けは車があるが荷物がないといった悪循環となった。全体的な荷動きは例年並みで堅調に動いたようである。暑い日が続き、飲料関連は前年比20%増加となった。

軽油価格は、初旬から上昇傾向で推移し、9月には3円/L以上の値上げが見込まれている。年末に向け、少しずつ値上げが続くと予想している。

松永地区トラック事業協同組合

荷主企業である製造業者等は、通常であれば8月12日もしくは13日から盆休みになるが、今年から8月11日が祝日となったため、盆休みを繰り上げて11日から16日までというところが多かったようである。

物流業者の毎月の売上は稼働日数に左右され、今年から祝日が出来たことにより、稼働日数が減少し、ひいては売上も減少したのが実情である。他産業と比べると、まだまだ好況感はなく先行きが不安である。

軽油価格は、未だに小幅で上下動しており、先行きは不透明であるが、業界では、以前のような価格にはならないであろうとの見方が強い。

広島輸送ターミナル協同組合

ドライバー不足が慢性化しつつある。荷動きも鈍化している。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育っていない。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

8月は時節柄、お盆休み等で仕事量が減少しており、売上高、収益状況、資金繰りは悪化している。前年同月比は変化なし。

観光地として集客需要増加の見込みから全日空ホテルやシェラトンホテルがファンド系リゾート会社に高値で買収されるなど、地元ホテル業界への今後の影響を注視している。